



岸和田市の90年年表(大正11年～平成24年)

西暦年	和暦年	月	事 項	主なできごと			
1922	大正11	11月	岸和田町が町制を廃して岸和田市となる。人口30,673人、世帯数6,816戸。児玉政介市長職務管掌。	6月加藤友三郎内閣成立			
1923	大正12	1月	第1回岸和田市議員選挙実施。岸和田市最初の市会開く。初代議長山田宗三郎就任。 岸和田婦人会発足。	9月関東大震災 第2次山本権兵衛内閣成立 			
		2月	市制実施により、岸和田浜町尋常小学校を岸和田市浜尋常小学校に、岸和田村尋常小学校を岸和田市城内小学校に、沼野村尋常小学校を岸和田市朝陽尋常小学校に、岸和田尋常小学校を岸和田市尋常高等小学校（後の中央小学校）に改称。				
		3月	岸和田尋常高等小学校附属実業補習学校を岸和田市立商業専修学校に改称。 「和泉葛城山ぶな林」が国の天然記念物に指定される。				
		4月	旧城内三の丸(南海蛸地蔵駅南側)にて市制記念博覧会開催。 舟木二三二(にさじ)初代市長就任。				
		5月	市制祝賀会開催。				
		9月	本町の旧町役場跡に新岸和田市庁舎完成。				
		12月	本町郵便局開局。				
		1924	大正13		1月	岸和田市歌制定。	1月清浦奎吾内閣成立 6月加藤高明内閣(護憲三派内閣)成立
		2月			岸和田市尋常高等小学校、中央尋常高等小学校と改称。		
4月	東光高等小学校創立。						
	南掃守尋常小学校に高等科を併置し、南掃守尋常高等小学校とする。						
	兵主神社本殿(西之内町)が特別保護建造物(現、重要文化財)に指定される。 市役所内に岸和田市職業紹介所を開設。(昭和2年4月、岸城町に移転)						
5月	岸和田市章を定める。						
9月	岸和田市公会堂完成。						

市制記念博覧会の絵はがき



岸和田市公会堂

		10月	岸和田市南町組合設立、耕地整理に着手。(昭和2年5月完了。)	
		12月	宮本町に岸和田駅前公設市場を開設。	
1925	大正14	2月	岸和田市朝陽組合設立、耕地整理に着手。(昭和27年8月完了。)	4月治安維持法公布 5月普通選挙法(男子)公布
		4月	蛸地藏駅が現在地へ移転。 東光高等小学校に尋常科を併置し、東光尋常高等小学校とする。	
		6月	並松町に岸和田市立託児所を開設。(昭和15年岸和田市立北保育所)	
1926	昭和1		東光尋常高等小学校に岸和田市立実践女学校を併置。	1月第1次若槻礼次郎内閣成立 12月大正天皇崩御 改元
		4月	岸和田市朝陽第二組合設立、耕地整理に着手。(昭和3年8月完了。) 帝国在郷軍人会岸和田市聯合分会結成。	
		6月	春木町、青年訓練所設置。	
		7月	中央・城内・浜・朝陽各小学校内に青年訓練所を設置。 郡長・郡役所廃止。	
		8月	大北町に市設簡易食堂を開設。(昭和17年閉鎖、20年疎開道路工事により撤去) 下野町、岸城町に公設市場開設。 南上町、野田町、藤井町に市営住宅を建設。	
1927	昭和2	1月	第2回市議会議員選挙。(関西最初の普通選挙) 川井源五郎市会議長就任。	3月金融恐慌 4月田中義一内閣成立
		3月	春木郵便局開局。 アメリカの子供たちから、日米親善のため中央小学校に「青い目の人形」5体贈られる。	
		5月	舟木二三二市長再選。	
		7月	岸和田市東光組合設立、耕地整理に着手。	

春木競馬場 昭和17年

		8月	南海興業株式会社が西之内町に春木競馬場建設。	
		11月	岸和田市が方面事業を開始し、方面委員(民生委員の前身)を選任。	
1928	昭和3	1月	岸和田市が都市計画法の規定による市となる。	2月最初の男子普通選挙(第16回総選挙)実施  市立図書館 昭和17年
		3月	泉南郡役所跡(現、市役所東北隅)に市立図書館開館。	
		4月	北掃守村が町制実施し、春木町となる。	
			岡部長景が岸和田市へ岸和田城跡・市公会堂敷地を寄付。	
			大阪府立泉南高等女学校が大阪府立岸和田高等女学校と改称。 北掃守尋常高等小学校を春木尋常高等小学校と改称。	
		7月	南海鉄道が牛滝線を主とした和泉自動車株式会社を買収し、南海バスを運行。	
		11月	泉南畜産組合が春木競馬場で最初の競馬開催。	
1929	昭和4	4月	春木町婦人会が西福寺(春木本町)境内に託児所開設。(昭和10年町立春木幼稚園)	7月浜口雄幸内閣成立 11月金輸出解禁
		12月	泉南郡春木町組合設立、耕地整理に着手。	
1930	昭和5	4月	岸和田市立実践女学校を廃止し、岸和田市立高等実践女学校創立。	4月ロンドン海軍軍縮条約締結 昭和恐慌  岸和田城跡 昭和6年頃
			舟木二三二市長辞任。	
			岸和田都市計画区域決定。	
		5月	井阪豊光市長就任。	
			土生半蔵市会議長就任。 岸和田駅前昭和大通り開通。	
		6月	阪和電鉄天王寺・東和歌山間開通(現、JR阪和線)。久米田駅・土生郷駅(現、東岸和田駅)開業。	
		8月	岸和田城本丸・二の丸跡などを千亀利公園として整備。	
		9月	磯上に春木尋常高等小学校分教場(後の大芝小学校)を創立。	

1931	昭和6	4月	有真香郵便局開局。	4月第2次若槻礼次郎内閣成立 9月柳条湖事件(満洲事変はじまる) 12月犬養毅内閣成立
		6月	消防組を改組し、岸和田市消防組とする。	
1932	昭和7	1月	井阪豊光市長辞任。	3月満洲国建国宣言 5月5・15事件(犬養毅首相暗殺) 斎藤実内閣成立
		2月	井阪豊光が第18回衆議院議員総選挙で当選。次いで市長に再任される。	
		5月	土生郷村作才に塵芥焼却場できる。	
		10月	寺田甚吉が岸和田紡績の倶楽部として自泉会館建設。	
1933	昭和8	5月	井阪豊光市長辞任。	3月国際連盟脱退
		7月	覚野勝三郎市会議長就任。	
			川崎正一市長就任。	
11月	岸和田市が市営事業として岸和田港第1期修築工事着工。			
1934	昭和9	2月	岸和田市立実業補習学校、岸和田市立商業専修学校と改称。	7月岡田啓介内閣成立
		4月	春木尋常高等小学校分教場が春木北尋常小学校となる。	
		6月	北町郵便局開局。	
		9月	21日室戸台風による被害。浜尋常小学校・東光尋常高等小学校・府立岸和田中学校等校舎倒壊。岸和田市内(当時)の罹災家屋1495戸・罹災者6,095人・死者5人。	
1935	昭和10	4月	西福寺境内の託児所を町立春木幼稚園とする。	
			青年学校令により、青年訓練所と実業補習学校を統合して青年学校とし、岸和田市立商業専修学校を公立青年学校岸和田商業専修学校と改称。	
			八木(後、大町)郵便局開局。	
		5月	泉南郡南掃守村加守組合設立、耕地整理に着手。	
		7月	山直上村、山直下村を廃し山直町をおく。	
		9月	阪和電鉄、阪和岸和田駅(現、東岸和田駅)を中心に、南海岸和田駅・土生滝・河合・水間観音を結ぶバス路線(葛城線)運行開始。	

		10月	公立青年学校岸和田商業専修学校、岸和田市立商業学校に改称。	
		11月	山直尋常高等小学校を山直北尋常高等小学校に、稲葉尋常高等小学校を山直南尋常高等小学校に改称。	
1936	昭和11	4月	私立大阪商工学校が私立南海商業学校となる。(昭和23年3月廃校)	2月2・26事件 3月広田弘毅内閣成立
		9月	川崎正一市長辞任。以後、1年1か月間市長不在となる。	
		11月	岸城郵便局開局。	
1937	昭和12	1月	岸和田市、春木町、山直町、南掃守村、八木村、土生郷村が6市町村組合病院(後、市立大宮病院)を設立。	2月林銑十郎内閣成立 6月第1次近衛文麿内閣成立 7月盧溝橋事件(日中戦争はじまる)
		2月	春木町、八木村を廃し、新たに春木町を設置。 八木尋常高等小学校が高木尋常高等小学校と改称。	
		3月	原藤右門、春木町長就任。	
		4月	南海和泉大宮駅開業。	
		8月	町民の寄付により山直北尋常高等小学校講堂竣工。	
		10月	竹崎米吉市長就任。 岸和田市自治振興委員会規程・岸和田市町会規程準則を制定。(町内会・隣組の成立)	
1938	昭和13	3月	土生郷村を岸和田市に編入。 土生郷尋常高等小学校を岸和田市旭尋常高等小学校に改称。	4月国家総動員法公布
		4月	南海鉄道が傍系バス会社を統合し、南海乗合自動車株式会社設立。	
		5月	「牛滝山」が府名勝に、「大島邸びゃくしん」(包近町)が府天然記念物に指定される。	
		7月	泉南郡南掃守村組合設立、耕地整理に着手。	
		11月	岸和田港第1期改修工事竣工。	
		12月	岸和田愛市聯盟結成。	
1939	昭和14		福本太郎市会議長就任。	1月平沼騏一郎内閣成立 横綱双葉山69連勝 8月阿部信行内閣成立 6月松本重治内閣(第2次世界大戦はじまる)

		2月	岸和田市、千亀利公園にて紀元節奉祝大会を開く。 「久米田寺境内」が府史跡に指定される。	9月ドイツ軍ポーランド侵攻(第2次世界大戦はじまる)	
		4月	警防団令により防護団及び消防組を改組して警防団を組織。岸和田警防団(6分団)、春木警防団(4分団)、山直警防団(2分団)、南掃守警防団(6分団)、有真香警防団(6分団)、東葛城警防団(分団なし)発足。		
		4月	修斉尋常小学校に高等科併置、修斉尋常高等小学校とする。		
		11月	上水道敷設事業(流木・津田川案)が認可される。		
		この年	南木荘(後、五風荘)竣工。		
1940	昭和15	2月	岸和田中学運動場で紀元2600年奉祝式典実施。	1月米内光政内閣成立 7月第2次近衛文麿内閣成立 10月大政翼賛会結成 11月紀元2600年式典	
		4月	春木北尋常小学校に高等科を併置し、大芝尋常高等小学校と改称。 竹崎米吉市長辞任。寺田利吉、名誉職市長に就任。		
		5月	市立託児所を市立北保育園と改称。		
		6月	東葛城村・有真香村を岸和田市に編入。 土生町に市立旭保育所開所。 堺市を除く泉州各市町村、府営水道敷設期成同盟会結成。		
		8月	南掃守(後、下松)郵便局開局。		
		10月	城内小学校が南上町の新校舎に移転。 藤枝知戒市会議長就任。		
		12月	阪和電鉄、南海鉄道に吸収合併、南海鉄道山手線となる。阪和岸和田駅は東岸和田駅と改称。 岸和田市自治振興委員会規程を廃止し、岸和田市町内会規程発布。		
1941	昭和16	2月	岸和田市立商業学校、第一本科(全日制)を設け、従来の夜間課程を第二本科とする事が文部大臣より認可される。 市立高等実践女学校が市立高等女学校と改称。		7月南部仏印進駐開始 10月東条英機内閣成立 12月真珠湾攻撃(太平洋戦争はじまる)

		3月	市役所庁舎を国道16号線(後の26号線)建設のため取り壊し、市役所は岸城町の旧泉南郡役所跡に移る。 大政翼賛会岸和田支部結成。
		4月	国民学校令により各小学校を国民学校と改称。 中央・城内・浜・朝陽青年学校を廃し、干城青年学校を設置。修斉・東葛城青年学校を廃し、函南青年学校を設置。
		5月	「久米田池」が府史跡名勝に指定される。
		7月	岸和田紡績、大日本紡績(後のユニチカ)と合併。
		8月	国道16号線(後、26号線 現、府道堺阪南線)開通。 貝塚町より分水を受け、岸和田市上水道給水を開始。
		この年	中之浜町に市立浜保育所開所。
1942	昭和17	2月	市立商業学校が別所町へ移転。
		4月	岸和田市、春木町、山直町、南掃守村が対等合併し、岸和田市とする。 大阪府より地方事務官幸前伸が市長職務管掌として派遣される。 市町村組合立大宮病院が市立大宮病院と改称。 岸和田市立幼稚園を岸和田市立岸城幼稚園と改称。
		6月	合併後第1回市議会議員選挙。 幸前伸市長職務管掌解職、寺田基吉名誉職市長就任。福本太郎市会議長就任。
		7月	春木若松郵便局開局。
		12月	旧岸和田紡績本社跡に大阪普通海員養成所(後、岸和田普通海員養成所)設立。
1943	昭和18	1月	南掃守上国民学校を光明国民学校と改称。
		4月	土生町、白原町、南上町、真上町の一部をさいて北阪町とする。
		8月	「岸和田城跡」が府史跡に指定される。



昭和16年から28年までの市役所庁舎



市立大宮病院 昭和17年

10月学徒出陣

		9月	寺田甚吉名誉職市長辞職。勅裁を経て福本太郎市長就任。覚野真三市会議長就任。	
		11月	土生郵便局開局。	
		12月	寺田甚吉、自泉会館を市に寄付。	
			岸和田商工会が岸和田市経済協会となる。	
1944	昭和19	3月	市立商業学校が私立南海商業学校と合併し、岸和田市立工業学校と改称。	7月小磯内閣成立 8月学童疎開はじまる
			中央・土生郷・有真香・東葛城・春木・南掃守・山直下・山直上・八木農業会設立。	
		5月	南海山手線が国有化され、国鉄阪和線となる。	
			春木青年学校を廃して、干城青年学校と合併。図南・山直・南掃守青年学校を統合し、市立光明青年学校とする。	
		6月	南海鉄道と関西急行鉄道が合併し、近畿日本鉄道株式会社となる。	
		9月	西田俊信市会議長就任。	
		10月	筋海町に市立病院中央診療所設置。	
		11月	高木国民学校が八木国民学校と改称。	
1945	昭和20	2月	4日、岸和田に初めて空襲。春木大小路・下池田・三田・岡山町等被弾。	3月大阪大空襲 4月鈴木貫太郎内閣成立 8月広島・長崎に原爆投下 終戦 東久邇稔彦内閣成立 9月連合国がGHQ設置 10月幣原喜重郎内閣成立 12月婦人参政権の新選挙法成立
		3月	17日・19日、空襲。阿間河滝・福田町、岸和田港沖等被弾。	
			南掃守国民学校加守分教場廃校。	
		4月	旧南海商業学校校舎を利用し、岸和田市大宮国民学校設立。	
			防空法による建物疎開始まる。	
		6月	大阪府警察部消防課直属の岸和田特別消防出張所設置。	
		7月	10日、空襲。沿岸部被災。中之浜町だんじり焼失。	
			阪南銀行が住友銀行と合併。	
8月	8日、空襲。15日終戦。			

		12月	私立聖母幼稚園(筋海町)設立。	
1946	昭和21	1月	岸和田市教員組合結成。	4月戦後初の総選挙 5月東京裁判はじまる 第1次吉田茂内閣成立 11月日本国憲法公布
		3月	福本太郎市長辞職。 岸和田市立工業学校が岸和田市立商業学校と改称。	
		4月	岸和田特別消防出張所が大阪府岸和田消防署に改称。山直・南掃守・貝塚の3出張所開設。	
		5月	小島朝一市長就任。	
		9月	戦争のため昭和18年を最後に中止されていた岸和田祭が復活。	
		12月	公職追放令により小島朝一市長辞職。池内幸次郎助役が市長職務代理となる。 岸和田地区・有真香地区・東葛城地区・山直地区・春木地区・南掃守地区各農地委員会設立。農地改革に着手。	
			北海道大地震。岸和田市の死者5人・重軽傷者10人・全半壊家屋10戸。	
1947	昭和22	1月	城内国民学校が連合軍より新教育の実験学校に指定される。	3月教育基本法・学校教育法公布 4月地方自治法公布 5月日本国憲法施行 6月片山哲内閣成立
		4月	初めて公選による市長選挙実施。毛利一郎当選し、市長就任。 学校教育法施行により、各国民学校は小学校に改称。第一中学校(現、岸城中学校)・第二中学校(現、光陽中学校)・第三中学校(現、常盤中学校)・第四中学校(現、葛城中学校)・第五中学校(現、久米田中学校)・第六中学校(現、春木中学校)・泉北郡山滝村立中学校(現、山滝中学校)創立。	
			私立岸和田工業学校(下松町)開校。(23年市立産業高等学校に吸収合併)	
			「池田王子跡」(下池田町)が府史跡に指定される。	
		5月	岸和田港第2期修築工事着工。 上野松太郎市議会議長就任。	
			岸和田体育連盟結成。	
		6月	南海電鉄が近畿日本鉄道から分離。	
8月	岸和田市接続町村合併研究会設置。			

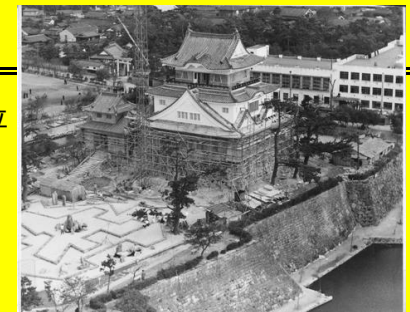
		この年	岸和田市生鮮食料品共同販売所設立。				
1948	昭和23	2月	岸和田商工会議所設立。初代会頭岸村徳太郎。	3月芦田均内閣成立 10月第2次吉田茂内閣成立  岸和田市警察署 昭和23年頃			
		3月	岸和田市警察署発足。 大阪府岸和田消防署を解消し、岸和田市消防本部(署)誕生。(本署および山直・南掃守出張所)				
		4月	岸和田市、山滝村を編入合併。				
			鳥本正清市議会議長就任。				
			府立岸和田中学校が岸和田高等学校に、府立岸和田高等女学校が和泉高等学校と改称し、男女共学となる。岸和田市立商業学校、岸和田市立産業高等学校と改称。 中央・有真香・東葛城・山滝・八木・南掃守各農業協同組合設立。				
		5月	山直上農業協同組合設立。				
		6月	土生郷・山直下各農業協同組合設立。				
		7月	春木農業協同組合設立。				
		10月	最初の教育委員選挙実施。				
		11月	岸和田市教育委員会発足。				
		この年	岸和田市・高石町・泉大津市・貝塚市・泉佐野市が府営水道水敷設期成同盟会を再結成。				
		1949	昭和24		2月	千喜里保育所(上野町西)開所。	1月法隆寺金堂火災
					3月	岸和田市立高等女学校廃校。	
4月	市営下野町住宅(木造)完成。						
5月	上野松太郎市議会議長就任。						
	岸城町に消防本部庁舎新築。						
6月	広報紙「きしわだの友」発刊。						
8月	岸和田市・貝塚市・八尾市・吹田市四市競馬組合結成。						

1950	昭和25	2月	岸和田市競輪場完成。第1回岸和田市営競輪開催。	6月朝鮮戦争はじまる  岸和田競輪場 昭和28年
		3月	常盤中学校閉校。	
		4月	山直南小学校と旭小学校内に中学校卒業生を対象にした青年教室設置。	
		5月	岸城町の協和銀行跡に岸和田市公民館設立。	
			流木配水池完成。	
			東光小学校に東光幼稚園を、山直北小学校に山直北幼稚園をそれぞれ併設。	
			並松町に市営卸売市場開設。	
		8月	久米田寺所蔵「楠家文書」「大塔宮令旨」「久米田寺文書」「絹本着色星曼荼羅図」、岸城神社所蔵「刀」が国の重要文化財に指定される。	
		9月	ジェーン台風による被害。死者4名、行方不明者1名、負傷者680名、家屋全壊250戸、家屋半壊1,185戸など罹災家屋3443戸・罹災者16572人。	
		10月	南掃守小学校(現、常盤小学校)に常盤幼稚園を併設。	
1951	昭和26	1月	泉州銀行設立。	9月サンフランシスコ平和条約・日米安保条約締結
		2月	岸和田市墓苑(流木町)完成。	
		4月	市長・市議会議員選挙。毛利一郎市長再選。	
			修斉小学校に修斉幼稚園を、山直南小学校に山直南幼稚園をそれぞれ併設。	
			山直北保育所(岡山町)開所。	
		5月	青木見一郎市議会議長就任。	
		9月	岸和田市青年団協議会結成。	
		10月	岸和田市自治振興委員会発足。	
1952	昭和27	4月	岸城中学校補導学級(現、夜間学級)発足。	
			市営桜ヶ丘住宅(下松町 木造)完成。	
		5月	市長選挙。福本太郎市長当選。	

		5月	大芝小学校に大芝幼稚園を、大宮小学校に大宮幼稚園を、光明小学校に光明幼稚園をそれぞれ併設。	
		7月	中井町に受水場設置し、府営水道(淀川の沈殿水)を受水、春木地区に給水。 7日～11日 豪雨による被害。死者3名、流出家屋5戸、全壊4戸、半壊4戸、床上浸水668戸、床下浸水2,851戸、河川決壊13ヶ所、護岸崩壊34ヶ所、橋梁流失24ヶ所、山崩れ13ヶ所被害。	
		12月	岸和田港振興協会設立。	
1953	昭和28	1月	杉本安太郎市議会議長就任。	2月NHKテレビ本放送開始
			春木小学校に春木幼稚園を併設。	
		4月	春木本町に消防署春木出張所開設。 市営岡山住宅(岡山町 木造)完成。	
		5月	春木宮川町の旧春木町役場を岸和田市公民館春木分館(現、春木地区公民館)とする。	
		6月	朝陽小学校に朝陽幼稚園を、東葛城小学校に東葛城幼稚園をそれぞれ併設。	
		7月	八木地区公民館(大町)開館。	
		8月	第1回港まつり開催。	
		9月	25日、台風13号による被害。家屋全壊14戸、半壊109戸、流失2戸、床上浸水39戸、床下浸水243戸。	
		12月	岸和田城本丸に八陣の庭(重森三玲設計)完成。 土生受水場竣工。(昭和44年12月廃止)	
1954	昭和29	4月	市営上松住宅(上松町 木造)、山下住宅(土生町 木造)、神須屋住宅(神須屋町 木造)完成。	6月自衛隊発足 12月鳩山一郎内閣成立
		6月	市議会、原水爆製造実験禁止を決議。	
		7月	新警察法により、岸和田市警察署が大阪府警岸和田署となる。	
		11月	新岸和田市庁舎(現、市役所旧館)開庁。 岸和田城天守閣、市立図書館として再建。	



第1回港まつり



建設中の岸和田城天守閣

1955	昭和30	3月	阿間河滝簡易水道竣工。(6月給水開始)	11月自由民主党結成
			岸城中学校、夜間学級の生徒に初めて卒業証書を授与。	
		4月	府営水(浄水)の受水開始。	
			大宮保育所(加守町)開所。	
			市議会議員選挙。	
			浜小学校に浜幼稚園を、山滝小学校に山滝幼稚園をそれぞれ併設。	
			文化財保護専門委員を設置。	
		5月	東京為三郎市議会議長就任。	
		6月	久米田寺所蔵「北畠覚空書状」「絹本着色仁王経曼荼羅図」「絹本着色安東蓮聖像」が国の重要文化財に指定される。	
8月	阪南都市連絡協議会(後、阪南都市合併調査協議会)設置。			
11月	泉南13市町村が加わる大阪湾浄化促進協議会発足。			
1956	昭和31	3月	市立病院に結核病棟(100床)建設。	12月国際連合加盟 石橋湛山内閣成立
			内畑西堂簡易水道竣工。(5月給水開始)	
		4月	市長選挙。福本太郎市長再選。	
			神於町に消防署東葛城出張所開設。	
		5月	岸和田市が財政再建団体となる。	
			「摩湯山古墳」(摩湯町)が国史跡に指定される。	
		8月	「岸和田藩薬園跡」(岸城町)ほか25件を市文化財に指定。	
10月	教育委員任命制となる。			
1957	昭和32	3月	福田簡易水道竣工。(9月給水開始)	2月岸信介内閣成立
			市議会がクリスマス島における水爆実験阻止決議。	

		4月	「西向寺のいぶき」(土生町)を市の天然記念物に指定。	
		7月	流木町に慰霊塔できる。	
		10月	久米田寺靖霊殿竣工。	
1958	昭和33	2月	岸和田・貝塚・熊取・泉佐野・田尻3市2町の合併協議が不調に終わる。 市営下池田住宅(下池田町 木造)完成。	12月東京タワー完成
		4月	讃岐幸次郎市議会議長就任。 市営五月ヶ丘住宅(今木町 木造)完成。	
		6月	岸城中学校で第1回市民体育祭開催。	
		11月	岸和田貝塚電報電話局設置。	
1959	昭和34	1月	岸和田市議会議員定数を36人から32人とする。	4月皇太子殿下結婚パレード
		3月	土生滝簡易水道竣工。(7月給水開始)	
		5月	上田松太郎市議会議長就任。	
		8月	「雨乞絵馬」(夜疑神社所蔵)を市の有形文化財に、「円教寺の蘇鉄」(五軒屋町)を市の天然記念物に指定。	
1960	昭和35	2月	天の川浄苑(磯上町)完成。(8月操業)	5月安保闘争高揚 7月池田勇人内閣成立
		3月	臨海工業用地造成事業が府知事より免許される。	
		4月	市長選挙。無投票で福本太郎市長三選。	
		5月	春木競馬が大阪府都市競馬組合の主催となる。 古石長三郎市議会議長就任。	
		7月	市立千喜利青少年会館(堺町)開館。	
		11月	岸和田市、国民健康保険事業開始。	
1961	昭和36	2月	臨海工業用地造成工事着工。	

		3月	千亀利公園(岸城町)に市民道場心技館開館。
		6月	岸田雅春市議会議長就任。 24日台風6号による被害。春木南地区で農家の納屋倒壊。阿間河滝で山手の用水路が約8mで決壊し、田畑が浸水。29日白原の蒲浦池の堤約10m決壊。牛滝川上流の数ヶ所で崖崩れ。
		8月	岸和田市立病院が市立岸和田市民病院と改称。
		9月	16日、第二室戸台風による被害。家屋全壊110戸、半壊610戸、床上浸水2,750戸、床下浸水2,100戸など罹災家屋9670戸・罹災者37265人。
		10月	岸和田市民病院本館新築。
		11月	市民会館(市立公民館 岸城町)竣工。 福本太郎市長辞職。
		12月	市長選挙。中澤米太郎市長就任。
1962	昭和37	2月	桜井正夫市議会議長就任。 市議会、「交通安全都市宣言に関する決議」を可決。
		7月	最初の市民プール(野田プール)完成。
		9月	岸和田祭で岸和田駅前のだんじりパレードを始める。
		11月	市制施行40周年。岡部長景氏・井阪豊光氏に初の名誉市民の称号を贈る。
		12月	消防署春木出張所、春木若松町に新築移転。
1963	昭和38	2月	交通安全都市宣言。
		3月	市議会、議員定数を32人から30人とする。 元市長故福本太郎氏に名誉市民の称号を追贈。 岸和田市民病院に伝染病院(35床)完成。
			市議会議員選挙。



市民会館

10月キューバ危機

11月米国ケネディ大統領暗殺事件

		4月	岸和田市こども会育成連絡協議会発足。 市立産業高等学校の紡織科を繊維工業科に改める。	
		5月	春木久治郎市議会議長就任。 岸和田市青少年指導員協議会発足。	
		6月	府立岸和田児童相談所(西之内町)開所。	
		8月	大北下水ポンプ場(第1施設)運転開始(現、廃止)。 葛城プール(土生町)開設。	
		11月	岸和田伝染病院(加守町)開院。 岸和田市、財政再建完了。	
		12月	上松町に消防署南掃守出張所新庁舎完成。	
		1964	昭和39	
5月	市役所隣に新消防本部庁舎完成。 第二阪和国道建設決定。			
6月	留河勝市議会議長就任。			
7月	久米田青少年会館(岡山町)開館。 岸和田駅前商店街にアーケード設置。 山滝プール(内畑町)開場。			
8月	野田プールにて第1回市民水泳大会開催。 葛城地区公民館(土生滝町)開館。			
9月	市内で東京オリンピック聖火リレー。 25日台風20号による被害。床上浸水630戸。			
				
			東京五輪の聖火リレー 上町付近	

1965	昭和40	3月	山直浄水場(山直中町 現、山直ポンプ場)竣工。	6月日韓基本条約締結
		4月	八木小学校分校(荒木町 現、新条小学校)開校。八木小学校分校併設幼稚園(現、新条幼稚園)併設。	
		6月	赤井正夫市議会議長就任。	
			市営大宮住宅(加守町)1棟(鉄筋)完成。	
		8月	岸和田地車祭保存会結成。	
		10月	国勢調査実施。岸和田市人口143,710人。	
		11月	久米田公園運動広場(岡山町)完成。	
		12月	市長選挙。中澤米太郎市長再選。	
1966	昭和41	1月	中央体育館(作才町)完成。	6月ビートルズ来日
		3月	「稲葉町薬師堂の榿」・「奥家の棕」(阿間河滝町)・「大沢神社の杉」(大沢町)・「積川神社の棕」(積川町)を市の天然記念物に指定。	
		4月	八木小学校分校を新条小学校とし、併設幼稚園を新条幼稚園と改称。	
		5月	今木浄水場(東大路町 現、今木配水場)完成。	
			大阪鉄工金属団地協同組合設立。	
			牛ノ口公園運動広場(上野町東)完成。	
		7月	臨海工業地を臨海町とする。	
			春木プール(八幡町)完成。	
		8月	臨海工業地造成事業竣工。	
			市議会、岸和田市貝塚市清掃施設組合設立を可決。	
11月	木材コンビナート完成。			
1967	昭和42	3月	めだか共同保育所(春木旭町)開所。	ミニスカート流行
			市立青年の家(小松里町)開館。	



木材コンビナートのパンフレット

		4月	市議会議員選挙。 市営大宮住宅(加守町)2棟(鉄筋)完成。	
		5月	岸和田保健所が野田町へ移転。	
		6月	木材コンビナートを新港町・木材町とする。 天の川下水ポンプ場(春木大国町)供用開始。	
			7月	
		8月	磯ノ上下水処理場・磯ノ上下水ポンプ場(磯上町)供用開始。	
		11月	泉州卸商業団地協同組合設立。	
		1968	昭和43	
4月	第二阪和国道八木土地区画整理事業工事着工。 旭小学校に旭幼稚園併設。 新条保育所(荒木町)開所。 市営大宮住宅(加守町)3棟(鉄筋)完成。			
	5月	大阪府、府営として春木競馬再開を決定。 中井秀治郎市議会議長就任。		
	7月	「意賀美神社社叢」を市の天然記念物に指定。		
8月	岸和田駅に跨線橋設置。	岸和田駅跨線橋の渡り初め		
10月	農業会館(下松町)開館。 市の木をクスノキとする。			

1969	昭和44	3月	岸和田市総合計画策定。	6月東名高速道路全線開通 7月アポロ11号月面着陸
			中央・土生郷・有真香・東葛城・山滝・山直上・八木・南掃守農協が合併し、岸和田市農業協同組合設立。	
			山滝地区公民館(稲葉町)・光陽地区公民館(並松町)開館。	
			今木プール(東大路町)開設。	
			葛城運動広場(畑町)完成。	
		4月	八木南小学校(小松里町)開校、八木南幼稚園併設。山直中学校(三田町)開校。	
			下野町下水ポンプ場(臨海町)供用開始。	
			市営尾生住宅(尾生町)1棟(鉄筋)完成。	
		6月	図書館自動車文庫巡廻はじめる。	
		9月	岸和田市貝塚市清掃工場完成(貝塚市半田)。	
11月	春木運動広場(八幡町)完成。			
12月	岸和田市長選挙。中澤米太郎市長三選。			
1970	昭和45	3月	岡山町に消防署山直出張所新築移転。	3月大阪万博開催 日航機よど号ハイジャック事件
		4月	春木保育所(春木泉町)開所。	
		5月	岸和田城内に市立郷土資料館開館。(平成19年3月廃止)	
		6月	市街化区域・市街化調整区域を定める。	
		7月	春木体育館(春木泉町)開館。	
			いながわ訓練所(岸野町 現、いながわ療育園)開所。	
		9月	市営岸野住宅(岸野町)1棟(鉄筋)完成。	
		10月	常盤青少年会館(下松町)開館。	
			国勢調査実施。岸和田市人口162,022人。	



自動車文庫 昭和45年 上松台

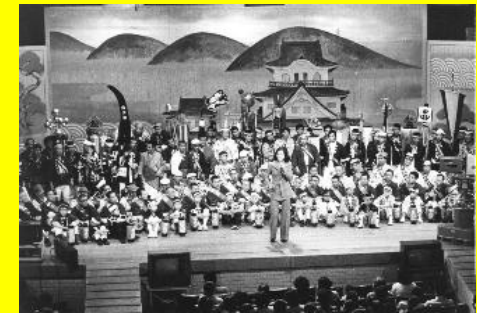


開館時の郷土資料館

		11月	宮前町婦人会、競馬存続反対を決議。以後、競馬反対運動が活発になる。	
		12月	積川神社所蔵「木造男神像」「篇額」が府の有形文化財に指定される。	
1971	昭和46	2月	市役所新館完成。	
		4月	八木南保育所(小松里町)開所。	
			城北小学校(荒木町)開校。	
			市立公民館春木分館を春木地区公民館と改称。	
			市議会議員選挙。	
			市営岸野住宅(岸野町)2棟(鉄筋)、桜ヶ丘住宅(下松町 鉄筋)完成。	
		5月	西浦惣太郎市議会議長就任。	
			「大威徳寺多宝塔」が国の重要文化財に指定される。	
		6月	市民憩の家(大沢町)開館。(平成11年9月廃止)	
		7月	赤山配水池(岡山町)完成。	
8月	和泉高校が野田町から土生町へ移転。			
	市立斎場(流木町)開場。			
1972	昭和47	3月	城北地区公民館(吉井町)開館。	2月札幌冬季オリンピック開催 浅間山荘事件 3月高松塚古墳壁画発見 5月沖縄返還 7月田中角栄内閣成立 9月日中共同声明(日中国交正常化)
		4月	東光保育所(野田町)、城北保育所(吉井町)開所。	
			新条幼稚園内に城北幼稚園開園。	
			泉州三市五町解放行政推進協議会(後、泉州解放行政推進研究協議会)設立。	
			箕土路青少年会館(箕土路町)開館。	
		6月	山本孝市議会議長就任。	
中井町に消防署八木出張所開設。				

			城北幼稚園が城北小学校併設となり移転。
		7月	12日～13日豪雨による被害。春木南浜町、南町、磯上町、土生町等で床下浸水309戸、床上浸水1戸。
		8月	岸和田市解放教育推進協議会設立。
		11月	市制施行50周年。
		12月	市民会館でNHK「ふるさとの歌まつり」公開収録、岸和田だんじり祭りが全国に紹介される。
1973	昭和48	2月	市議会、関西新空港設置の反対決議。
		3月	泉州卸商業団地(土生町)竣工。 「木造阿弥陀如来坐像」(岸和田市所蔵)・「不動明王坐像」(個人蔵)・「山直神社社殿」が府の有形文化財に指定される。
		4月	城東小学校(三田町)開校。
			元和泉高校跡(野田町)に休日診療所開設。
			家庭ごみの収集が週2回となる。
			桜ヶ丘保育所(下松町)開所。
			市議会、泉州沖での関西新国際空港建設反対を決議。
			泉州学園泉州高等学校(現、近畿大学泉州高等学校)開校。
		5月	春木地区公民館・春木勤労青少年ホーム改築開館。
			第二阪和国道南部土地区画整理事業工事着工。
		6月	川中安雄市議会議長就任。
		7月	大宮青少年会館(宮前町)開館。
			山直北プール(三田町)開設。
		8月	万博公園での「日本の祭り」に岸和田のだんじり2台出演。
			福祉総合センター(野田町)開館。

2月円変動相場制へ移行
10月オイルショック




NHKふるさとの歌まつり公開収録



泉州卸商業団地と国鉄東岸和田駅 昭和48年

		9月	大芝保育所(磯上町)開所。 城北プール(吉井町)開設。 市営上松住宅(上松町 鉄筋)完成。	
		12月	市長選挙。原昇市長就任。	
1974	昭和49	3月	春木競馬場廃止。	12月三木武夫内閣成立 この年戦後初のマイナス成長
		5月	八木運動広場(大町)完成。	
		9月	城内保育所(上町)・八木北保育所(大町)開所。	
		11月	「岸和田市の開発行為等による指導要綱」制定。 水道部庁舎、南上町に移転。	
1975	昭和50	4月	城東保育所(三田町)・修斉保育所(真上町)開所。 市議会議員選挙。	4月ベトナム戦争終戦 7月沖縄海洋博覧会開催
		5月	図書館、現在地へ移転、開館。	
		6月	新条プール開設。	
		8月	旧春木競馬場駐車場跡にメディカルセンター完成し、休日診療所が移転。 岸和田市が人権モデル地区に指定される。	
		10月	国勢調査実施。岸和田市人口174,952人。	
		12月	人権擁護都市宣言。	
1976	昭和51	3月	『岸和田市史』刊行開始。	2月ロッキード事件 12月福田赳夫内閣成立
		4月	岸和田市スポーツ審議会発足。	
		5月	郷土資料館の天守閣展示場公開。	
		10月	葛城サービスセンターを葛城地区公民館(土生滝町)に、山直サービスセンターを山直老人集会所(田治米町)に開設。	

1977	昭和52	10月	市営八幡住宅(八幡町)完成。	9月王貞治本塁打世界記録達成 		
		12月	岸和田市総合計画基本構想策定。			
		3月	岸和田市環境保全条例施行。			
		4月	第1次岸和田市総合計画スタート。			
			北中学校(春木旭町)開校。 「岸和田市消費者保護条例」制定。			
		6月	旧福祉会館(沼町)に市消費者コーナー開設。			
		8月	阪南港の埋立地を地蔵浜町とする。 春木サービスセンターを春木地区公民館(春木宮川町)に、八木サービスセンターを青年の家(小松里町)に、常盤サービスセンターを農業会館(下松町)に開設。山滝支所(内畑町)開設。			
			10月		岸和田障害者共同作業所、旧福祉会館跡(沼町)に開所。	
		12月	市長選挙。無投票で原昇市長再選。 「小金塚古墳」(岡山町)を市の史跡に指定。			
			1978		昭和53	5月成田空港開港 12月大平正芳内閣成立
		1978	昭和53		4月	八木北小学校(下池田町)開校、八木北幼稚園併設。
						中央保育所(北町)開所。
府立久米田高校(小松里町)開校。						
5月	「福祉のまちづくりのための環境整備要綱」実施。 中央公園で第1回市民フェスティバル実施。					
	6月			まちを美しくする市民運動推進協議会発足。		
9月	大北下水ポンプ場(地蔵浜町)供用開始。					
10月	大芝地区公民館(磯上町)開館。					

		10月	岸和田市企業同和問題研修推進連絡会発足。(平成14年4月岸和田市人権啓発企業連絡会に改称)	
		12月	南海本線岸和田駅周辺高架事業認可される。	
1979	昭和54	1月	第二阪和国道中央土地区画整理事業工事着工。	1月国立大学共通一次試験実施 6月東京サミット開催 12月ソ連軍アフガニスタン侵攻 インベーダーゲーム流行 
			天神山町1～3丁目できる。	
		3月	春木サービスセンターを春木駅前に移設。	
		4月	天神山小学校(天神山町)開校、旭幼稚園分園を併設。	
			市議会議員選挙。	
		6月	29日豪雨による被害。西之内町、宮本町、野田町などで床上浸水90戸。下松町、上町を中心に床下浸水95戸。古城川が氾濫、五軒屋町付近で堤防破損。	
			岸和田市人権啓発推進協議会発足。(平成18年3月岸和田市人権協会に改称)	
		7月	岸和田市健康づくり推進協議会設置。	
		9月	第二阪和国道(国道26号)市内全線が開通。	
		10月	10月祭礼が9日・10日に統一される。	
		11月	トーク岸和田(トークタウン 土生町)開業。	
1980	昭和55	3月	大沢町・相川町に上水道給水開始。	5月モスクワ五輪不参加表明 6月大平首相急死 衆参両院同日選挙 7月鈴木善幸内閣成立
			山滝小学校大沢分校廃校。	
		4月	桜台中学校(下松町)開校。	
			旭幼稚園分園を天神山幼稚園と改称。	
			市営八木住宅(小松里町 鉄筋)完成。	
		7月	岸和田市総合計画基本計画策定。	
暴走族追放市民連絡会議発足。				
桜台プール(下松町)開設。				

開通当時の国道26号線 西之内町付近

		8月	古城川下流域を埋め立て暗渠化。	
		9月	航空審議会が運輸大臣に「関西国際空港設置の計画について」答申。	
		10月	国勢調査実施。岸和田市人口180,317人。	
		11月	中央公園で第1回市民スポーツカーニバル実施。	
		12月	故松田竹千代氏に名誉市民の称号を追贈。	
1981	昭和56	2月	岸和田警察署が本町から作才町に移転。	3月神戸でポートピア81開催 7月英国でチャールズ皇太子とダイアナ・スペンサー結婚
		3月	牛滝地区と塔原町に上水道給水開始。市内給水率100%となる。	
			大沢山荘(大沢町)設立。	
			東葛城小学校分校廃止。	
			浜工業公園(地蔵浜町)開設。	
		4月	東岸和田市民センター(土生町)開館。	
		6月	障害者福祉都市宣言。	
			消防署東葛城出張所(神於町)新庁舎完成。	
		7月	庁内組織として「関西国際空港問題対策会議」、市民組織として「空港問題を考える百人委員会」発足。	
			岸和田市シルバー人材センター設立。	
		11月	市長選挙。原昇市長三選。	
1982	昭和57	3月	市議会、環境保全・地域整備等について地元住民の要望や意見を尊重するよう要望する「関西新国際空港に関する要望決議」可決。	2月ホテルニュージャパン火災 11月中曽根康弘内閣成立 東北・上越新幹線開業
		4月	産業会館(別所町)開館。	
			消費者コーナーが沼町から産業会館へ移転し、消費者センター(現、消費生活センター)と改称。	
			市立産業高等学校の繊維工業科を繊維工芸科に改称。	
		6月	岸貝清掃施設組合の新焼却炉稼働開始、焼却炉計4基となる。	

		7月	第二阪和国道八木土地区画整理事業工事完了。
		8月	1日台風10号による被害。古城川が溢水し、堺町、大手町などで床上、床下浸水約160戸。
		10月	市役所別館完成。
		11月	市制施行60周年。
			岸和田市民憲章策定。
			市の花にバラを選定。
この年	駅前商店街振興組合が、岸和田駅前通りのアーケード改修、カラー舗装を行う。		
1983	昭和58		核兵器廃絶・平和都市宣言。
		3月	第55回選抜高校野球大会に泉州高校出場。 元市長毛利一郎氏に名誉市民の称号を贈る。
		4月	太田小学校(畑町)開校、太田幼稚園併設。
			市議会議員選挙。
		5月	自泉会館を改修し、市民ギャラリー公開。
		6月	太田プール(畑町)開設。
		8月	旧岸和田村尋常小学校舎を中央公園内に復元移築。
1984	昭和59	2月	前市長故中澤米太郎氏に名誉市民の称号を追贈。
		3月	古城川緑道完成。
		4月	国鉄阪和線下松駅開業。
		5月	文化会館(マドカホール 荒木町)開館。
1985	昭和60	1月	岸和田市尾生町土地区画整理事業工事着工。(8月完了)



岸和田市民憲章

4月東京ディズニーランド開園





下松駅の開業

3月グリコ・森永事件

4月NTT・日本たばこ産業設立
8月日航ジャンボ機墜落事故

		3月	防災行政無線局開局。	
		4月	神於山土地改良区設立。	
		9月	葛城町と野田町をモデル地区としてごみの分別収集開始。	
		10月	国勢調査。岸和田市人口185,731人。	
		11月	南海本線岸和田駅周辺高架化着工。	
			郵政省テレトピア(未来型コミュニケーションモデル都市)構想の地域指定をうける。	
12月	市長選挙。無投票で原昇市長四選。			
1986	昭和61	4月	コスモポリス地域整備推進室設置。	4月ソ連チェルノブイリ原発事故
			有真香会館(土生滝町)開館。	
		5月	岸和田市コスモポリス推進機構設立。	
		6月	テレビ市政だより放送開始。	
		7月	古城川緑道が建設省の「手づくり郷土賞」受賞。	
		8月	南大阪湾岸北部流域下水道組合設立。	
		11月	阪和線東岸和田駅が快速電車の停車駅となる。	
1987	昭和62	2月	葛城上地区公民館(塔原町)開館。	4月JR設立 11月竹下登内閣成立
		4月	南大阪湾岸流域下水道北部処理場(忠岡町 現、北部水みらいセンター)供用開始。	
			野村中学校(下野町)開校。	
			市議会議員選挙。	
		6月	臨海会館(地藏浜町)開館。	
7月	株式会社テレビ岸和田設立。			
	八木北プール(下池田町)開設。			

		10月	岸和田駅前通りが建設省の「手づくり郷土賞」受賞。		
		11月	岸和田旧港再開発事業のため岸和田港湾都市株式会社設立。		
		この年	岸和田市日本中国友好協会設立。		
1988	昭和63	4月	岸和田城400年祭実施。市内58台のだんじりがパレード。	6月リクルート事件発覚 この頃バブル景気の絶頂期	
		6月	市民病院、脳神経外科・外科・整形外科で夜間救急診療始める。 相川町で最初のホタルまつり実施。	 <p>岸和田城400年祭</p>	
		7月	岸和田市コスモポリス推進機構を解消し、株式会社岸和田コスモポリス設立。 五風荘(岸城町)を一般公開。 岸和田駐車場株式会社設立。		
		8月	岸和田競輪場メインスタンド完成。 「核兵器廃絶・平和都市宣言」5周年を記念して、自泉会館で第1回非核平和資料展開催。 南大阪湾岸中部流域下水道組合設立。		
		9月	第1回濱田青陵賞授賞式実施(第1回受賞者東野治之氏)。		
		10月	市営松ヶ丘住宅(小松里町)1棟(鉄筋)完成。		
		11月	将棋のプロ棋士南芳一王将に初の市民栄誉賞を贈る。 前商工会議所会頭松浪定雄氏に名誉市民の称号を贈る。 東岸和田駅前地区市街地再開発事業準備組合設立。		
1989	平成1	1月	「土生鼓踊り」を市の無形民俗文化財に指定。		1月昭和天皇崩御 改元
		3月	大阪泉州桐箆箆が通産省の伝統工芸品に指定される。		4月消費税スタート
		4月	南海岸和田駅舎(昭和4年建築)取り壊し。 南大阪湾岸流域下水道中部処理場(貝塚市 現、中部水みらいセンター)供用開始。		6月宇野宗佑内閣成立 中国で天安門事件 8月海部俊樹内閣成立 11月ベルリンの壁崩壊

		7月	岸和田市国際親善協会設立。 中央公園が「日本都市公園百選」(緑の文明学会・社団法人日本公園緑地協会)に選ばれる。	 <p>岸和田駅舎お別れ式</p>	
		10月	光明配水場(尾生町)竣工。 市営松ヶ丘住宅(小松里町)2棟(鉄筋)完成。		
		11月	市長選挙、原鼻市長五選。市議会議員補欠選挙。 女性センター(加守町)開館。		
1990	平成2	3月	阪和自動車道岸和田和泉 阪南間開通。岸和田サービスエリア開業。府道磯之上・山直線開通。 市内全域でごみの分別収集実施。	<p>10月東西ドイツ統一 11月即位の礼</p>  <p>建設中の阪和自動車道内畑トンネル</p>	
		4月	第2次岸和田市総合計画スタート。 大阪職業訓練短期大学校(稲葉町 現、近畿職業能力開発大学校)開校。		
		6月	中国広東省汕頭市と友好都市締結。 第二阪和国道南部土地区画整理事業工事完了。 神於山土地改良区が貯水池(傍示池)完成。		
		7月	株式会社ステーションパーキング岸和田設立。 阿間河滝町の坂道が建設省の「手づくり郷土賞」受賞。		
		10月	国勢調査。岸和田市人口188,563人。		
		12月	市営松ヶ丘住宅(小松里町)3棟(鉄筋)完成。		
		この年	岸和田市観光振興協会設立。		
1991	平成3	1月	きしわだ女性プラン策定。		<p>1月湾岸戦争 6月雲仙普賢岳噴火 11月宮沢喜一内閣成立 12月ソ連解体 この頃よりバブル経済崩壊が表面化</p>
		2月	泉州千亀利マラソン大会実施。		
			市役所が第2・第4土曜日閉庁となる。		

		4月	市議会議員選挙。 岸和田市市民文化事業協会(後、岸和田文化事業協会)設立。 テレビ岸和田放送多チャンネル化。 消防署春木出張所(春木若松町)新庁舎完成。 市立産業高等学校の繊維工芸科をデザインシステム科に改編し、商業科に情報処理・会計・国際の3コース制を導入。	
		6月	蜻蛉池公園(三ヶ山町)開設。	
		11月	市営松ヶ丘住宅(小松里町)4棟(鉄筋)完成。	
		この年	きしわだ女性プラン策定。	
1992	平成4	2月	市民病院、MRI(核磁気共鳴画像装置)導入。	3月東海道新幹線「のぞみ」運転開始
		3月	旧港再開発事業の公有水面埋め立て完了。	
		4月	財団法人岸和田市公園緑化協会設立。	
		5月	南海本線岸和田駅高架化上り線が完成。	
		9月	岸和田城改修工事竣工。	
		10月	米国カリフォルニア州サウスサンフランシスコ市と姉妹都市提携調印。	
		11月	市制施行70周年。 「岸和田っ子宣言」制定。	
1993	平成5	2月	市営松ヶ丘住宅(小松里町)5棟(鉄筋)完成。	5月サッカーJリーグ開幕 6月皇太子結婚 8月細川護熙内閣(非自民連立)成立
		4月	土生中学校(土生町)開校。 高齢者ふれあいセンター朝陽(下野町)開館。	
		6月	山直市民センター(三田町)開館。	
			岸和田市生涯学習計画策定。	



サウスサンフランシスコ市と
姉妹都市提携調印


		9月	岸和田だんじり会館(本町)開館。 岸和田城ライトアップ開始。		
		11月	市長選挙。原昇市長六選。 岸和田市文化財保護条例施行。		
1994	平成6	2月	第1回泉州国際市民マラソン大会開催。	4月羽田孜内閣成立 6月村山富一内閣成立	
		3月	暴力排除都市宣言。 岸和田市老人保健福祉計画策定。	 <p>泉州国際市民マラソン</p>	
		4月	阪神高速湾岸線全線開通。 すぱーく岸和田(西之内町)開設。		
		5月	岸和田旧港再開発地区を港緑町とする。 本町のまちづくりを考える会設立。		
		7月	南海本線岸和田駅周辺上下線高架化。 歴史のみち 紀州街道が建設省の「手づくり郷土賞」受賞。		
		9月	関西国際空港開港。		
		10月	春木市民センター(春木若松町)開館。		
		12月	市役所第2別館開庁。 流木町で岸和田ワニの化石発見。		
1995	平成7	1月	兵庫県南部地震(阪神大震災)。市内の住戸全壊1、半壊14などの被害。		3月地下鉄サリン事件
		2月	消防本部、高規格救急車導入。		
		3月	岸和田市地域福祉計画策定。		
		4月	市議会議員選挙。		

		4月	市営松風住宅(松風町)1期(鉄筋)完成。	
		6月	きしわだ自然資料館(堺町)開館。	
		7月	4日～6日豪雨による被害。床下浸水120戸、床上浸水4戸、家屋の一部破損3戸。	
		8月	行財政改革推進本部設置。	
		10月	国勢調査。岸和田市人口194,818人。	
1996	平成8	2月	岸和田駅東側広場完成。	1月橋本龍太郎内閣成立 7月O157集団感染多発
		3月	岸和田駅周辺連続立体交差事業完了。 岸和田市国際化ガイドプラン策定。 市議会議員定数を30人から28人とする。	 <p>開館当時のきしわだ自然資料館</p>
		4月	市営松風住宅(松風町)2期(鉄筋)完成。	
		5月	市民病院、額原町に移転・開院。	
		11月	岸和田市総合体育館(西之内町)開館。	
1997	平成9	3月	行財政改革大綱策定。 岸和田市田治米土地区画整理事業工事着工。	4月消費税率5%になる 11月山一証券経営破綻
		4月	岸和田駅市民サービスコーナー開設。	 <p>なみはや国体 剣道競技</p>
		5月	第1次岸和田市障害者計画策定。 「自泉会館」が国登録文化財となる。	
		8月	岸和田市行財政改革実施計画策定。	
		9月	尾生久米田特定土地区画整理事業工事着工。 まちづくりの館(本町)開館。 岸和田市公式ホームページ開設。	

		10月	第52回国民体育大会(なみはや国体)剣道競技開催。		
		11月	市長選挙。原昇市長七選。 「旧岸和田村尋常小学校舎」が国登録文化財となる。		
1998	平成10	3月	岸和田市都市計画マスタープラン策定。	2月長野冬季五輪開催 6月サッカー日本代表、ワールドカップフランス大会初出場 7月小淵恵三内閣成立 10月長銀経営破綻 	
		4月	岸和田市行政手続条例施行。 岸和田市立保健センター(別所町)事業開始。 総合体育館で大相撲岸和田場所(第1回)開催。		
		6月	光明地区公民館(尾生町)開館。		
		7月	「五風荘」が国登録文化財となる。 市営尾生住宅(尾生町)2棟1期(鉄筋)完成。		
		8月	市の人口が20万人を超える。 生涯学習出前講座開始。		
		9月	岸和田市八幡土地区画整理事業工事着工。		
		11月	第1回図書館まつり開催。		
1999	平成11	1月	阪南2区整備事業着工。		3月日銀、ゼロ金利政策実施 9月東海村JCO臨界事故
		2月	岸和田市田治米土地区画整理事業工事完了。 岸和田市母子保健計画策定。		
		3月	地域振興券交付。 第二阪和国道中央土地区画整理事業工事が完了。 岸和田市児童計画(きしわだっ子プラン)策定。		
		4月	市議会議員選挙。		

		4月	牛滝浄化センター(大沢町)供用開始。	
		5月	牛滝温泉森やかの郷(大沢町)開設。	
		6月	新条地区公民館(荒木町)開館。	
		8月	市営尾生住宅(尾生町)2棟2期(鉄筋)完成。	
		11月	泉州北部小児初期救急広域センター(荒木町)開設。	
		12月	岸和田市八幡土地区画整理事業工事完了。	
2000	平成12	1月	行遇町ができる。	4月森喜朗内閣成立 7月九州・沖縄サミット
			岸和田市緑の基本計画策定。	
		3月	「紫系威伊予札四枚胴具足」(岸和田市蔵)が府の有形文化財に指定される。	
			岸和田市老人保健福祉計画・介護保険事業計画策定。	
			介護保険制度開始。	
		4月	産業高校に情報科新設。	
			財政健全化チーム発足。	
		5月	財団法人岸和田市文化財団設立。	
			大阪地方・家庭裁判所岸和田支部、加守町に移転。	
		6月	ローズバス運行開始。	
			大雨により岸和田城本丸石垣の一部崩落。(平成13年3月修復)	
		7月	岸和田市日本大韓民国親善協会設立。	
			岸和田市情報公開条例・岸和田市個人情報保護条例施行。	
		10月	国勢調査実施。岸和田市人口200,104人。	
			10月祭礼が体育の日の前日・前々日となる。	

		12月	大阪府が大阪府市町村合併推進要綱を策定。	
2001	平成13	2月	財政健全化三カ年アクションプラン策定。	1月中央省庁等改革で1府12省庁となる 4月小泉純一郎内閣成立 6月大阪教育大学付属池田小学校で児童無差別殺傷事件 7月明石花火大会で歩道橋事故 9月アメリカ同時多発テロ事件
		3月	第2期きしわだ女性プラン策定。	
			岸和田市産業振興ビジョン策定。	
		4月	第3次岸和田市総合計画スタート。	
		6月	岸和田市立公民館・中央地区公民館(堺町)開館。	
			塔原・相川地区に農業集落排水施設設置。	
		11月	岸之浦町ができる。	
			市長選挙。原昇市長八選。	
この年	泉大津市・貝塚市・泉佐野市・富田林市が次年度からの競輪事業撤退を決定。			
2002	平成14	4月	岸和田市が特例市となる。	5月サッカーワールドカップ日本・韓国大会 10月北朝鮮から拉致被害者5人帰国
			浪切ホール(港緑町)開館。	
			総合体育館で大相撲岸和田場所(第2回)開催。	
			入湯税導入。	
		5月	天神山地区公民館(天神山町)開館。	
		7月	一般家庭ごみの一部と粗大ごみ収集を有料化。	
		8月	住民基本台帳ネットワークシステム運用開始。	
			「和田家住宅」が国の登録文化財となる。	
		10月	中国上海市楊浦(ヨウホ)区と友好交流関係を、韓国ソウル特別市永登浦(ヨンドンポ)区と姉妹都市を締結。	
		11月	市制施行80周年。	
12月	市民病院が地域がん診療連携拠点病院に指定される。			

		この年	第1回岸和田市都市景観賞。	
2003	平成15	3月	地球温暖化対策率先実行計画策定。	3月イラク戦争 9月民主党と自由党合併
			岸和田市老人保健福祉計画・第2期介護保険事業計画策定。	
		4月	市議会議員選挙。	
		6月	新行財政改革大綱策定。	
		7月	市民病院、女性専用外来開設。	
			岸和田市・忠岡町合併協議会設置。	
		8月	住民基本台帳ネットワークシステム第2次サービス開始。	
		9月	岸和田市保健計画「ウエルエージングきしわだ」策定。	
		10月	岸和田駅レンタサイクル(だんじりん)試行実施。(16年度より本格実施)	
		11月	和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会設立。	
		12月	岸和田市環境保全条例を全面改正し施行。	
2004	平成16	3月	市営あけぼの住宅(西之内町 鉄筋)完成。	10月新潟県中越地震 イチロー、メジャーリーグ最多安打記録更新
		5月	第2次岸和田市生涯学習計画策定。	
			岸和田市交通バリアフリー基本構想(JR阪和線東岸和田駅周辺地区)策定。	
			岸和田市保健計画ウエルエージングきしわだ推進協議会設置。	
		6月	岸和田市児童虐待防止ネットワーク開始。	
		7月	岸和田市子ども読書活動推進計画策定。	
		10月	久米田池交流資料館(池尻町)開館。	
		11月	プロ野球清原和博選手に市民栄誉賞を贈る。	
				 <p>清原選手に市民栄誉賞</p>
2005	平成17	2月	きしわだ環境市民会議設立。	4月JR福知山線列車脱線事故

		3月	『岸和田市史』全8巻刊行終了。
		4月	津波ハザードマップ作成。
		5月	岸和田市交通バリアフリー基本構想(南海本線岸和田駅周辺地区)策定。
		7月	こども99番(岸和田市あんしん・あんぜんメール)開始。
		8月	岸和田市自治基本条例施行。
		9月	大沢・上葛城地区に岸和田市消防団設置。
		10月	国勢調査実施。岸和田市人口201,000人。
		11月	市長選挙。野口聖市長就任。 岸和田城天守閣で結婚式実施。
		12月	岸和田市人権尊重のまちづくり条例施行。
2006	平成18	3月	岸和田市老人保健福祉計画・第3期介護保険事業計画策定。
		4月	浪切ホールに和歌山大学岸和田サテライト開設。 公の施設(17施設)に指定管理者制度導入。 水道局と下水道部が組織統合し、上下水道局となる。 危機管理監・危機管理室設置。
		5月	岸和田市交通バリアフリー基本構想(南海本線春木駅・JR阪和線久米田駅周辺地区)策定。
		6月	門前町ができる。
		9月	9月祭礼が敬老の日の前日と前々日となる。
		11月	岸和田市貝塚市クリーンセンター(岸之浦町)業務開始。
2007	平成19	1月	貝塚市清見新町を岸和田市尾生町に編入。 きしわだ行財政再生プラン策定。



野口聖市長初登庁

3月第1回ワールドベースボールクラシック日本代表が優勝
9月安部晋三内閣成立

9月福田康夫内閣成立

		3月	市議会議員定数を28人から26人とする。 第2次岸和田市地域福祉計画・地域福祉活動推進計画策定。 第2次岸和田市障害者計画・第1期岸和田市障害福祉計画策定。	
		4月	市議会議員選挙。 郷土資料館を廃止し、岸和田城とする。 八木南保育所と桜ヶ丘保育所を廃し、桜台保育所(尾生町)開所。	
		6月	大沢町に農業集落排水処理施設設置。	
		8月	歌手の鳥羽一郎氏・中村美律子氏を岸和田観光大使に任命。	
		9月	桜台保育所内に子育て支援センターさくらだい開設。	
		10月	岸和田市観光振興計画策定。	
		11月	「『落合文庫』等和漢書コレクション」(岸和田高校所蔵)を市の有形文化財に指定。	
2008	平成20	3月	岸和田市住宅・建築物耐震改修促進計画策定。 地震ハザードマップ・洪水・土砂災害ハザードマップ作成。 岸和田市既存住宅耐震改修促進協議会発足。 南大阪湾岸北部流域下水道組合・南大阪湾岸中部流域下水道組合解散し、大阪府が引き継ぐ。	7月洞爺湖サミット開催 9月麻生太郎内閣成立 米国リーマン・ブラザーズ社破綻(リーマン・ショック)
		5月	岸和田市、景観法に基づく景観行政団体となる。	
		6月	岸和田市丘陵地区整備計画基本構想策定。 岸和田市ふるさと寄付制度始まる。	
2009	平成21	2月	岸和田市障害者自立支援協議会発足。	1月バラク・オバマ米国大統領就任 6月新型インフルエンザ流行 8月総選挙で民主党圧勝、第一党に躍進 9月鳩山由紀夫内閣成立
		3月	岸和田市高齢者福祉計画・第4期介護保険事業計画策定。 第2期岸和田市障害福祉計画策定。	

		4月	東光保育所を廃し民営化。
		5月	新型インフルエンザ対策本部設置。
		8月	JR阪和線東岸和田駅付近高架化事業起工。
		9月	岸和田市議会議員政治倫理条例制定。
		10月	岸和田市下松土地区画整理事業工事着工。
		11月	上松町に消防庁舎新築移転、本部業務開始。
			前市長原昇氏に名誉市民の称号を贈る。
			市長選挙。野口聖市長再選。
			産業高校が韓国ソウル特別市の漢江(ハンガン)メディア高校と姉妹校締結。
2010	平成22	1月	消防署が新消防庁舎へ移転、南掃守出張所閉鎖。旧消防署を岸城分署に改称。
			消費者センターを消費生活センターに改称。
		3月	蜻蛉池公園内に三ヶ山町でみつかった衣ヶ谷古墳を移築、公開。
			岸和田「カーネーション」推進協議会設置。
		4月	普通ごみ収集を有料指定袋制とする。
			大芝保育所を廃し民営化。
		7月	「岸和田市開発行為等の手続き等に関する条例」施行。
			岸和田市景観計画策定。
		9月	第1回岸和田ブランド認定。
		10月	国勢調査実施。岸和田市人口199,234人。
岸和田市丘陵地区まちづくり基本計画策定。			
11月	東岸和田市民センターが東岸和田駅前のリハープに移転、開庁。		



原昇氏に名誉市民称号

6月小惑星探査機はやぶさ帰還
12月関西広域連合発足

		11月	市民病院が地域医療支援病院に指定される。	
2011	平成23	2月	岸和田市下松土地区画整理事業工事完了。	3月東日本大震災 福島第一原発事故 6月サッカー女子日本代表、ワールドカップドイツ大会で初優勝 9月野田佳彦内閣成立
		3月	岸和田市都市計画マスタープラン[テーマ別まちづくり編]策定。	
			岸和田市男女共同参画推進計画第3期女性プラン策定。	
			東日本大震災。災害支援対策本部設置。	
			岸和田市議会基本条例制定。	
			尾生久米田特定土地区画整理事業工事完了。	
		4月	岸和田市まちづくりビジョン(第4次総合計画)スタート。	
			岸和田市男女共同参画推進条例施行。	
			市議会議員選挙。	
			新条保育所を廃し民営化。	
			三ヶ山町内に愛彩ランド開業。	
			岸和田競輪場にサイクルピア岸和田BMXコース・クラブハウスを新設、BMX事業を開始。	
		6月	岸和田市市有建築物耐震化実施計画策定。	
		10月	愛彩ランドが「道の駅」になる。	
小篠綾子氏をモデルとしたNHK連続テレビ小説「カーネーション」放映開始。				
11月	岸和田市水道ビジョン策定。			
12月	行財政新改革プラン策定。			
2012	平成24	1月	岸和田城イメージキャラクターの愛称が「ちきりくん」に決定。	7月ロンドンオリンピック開催
		5月	「岸和田市高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画」策定。	
			「第3次岸和田市地域福祉計画・地域福祉活動推進計画」策定。	

		5月	「第3次障害者計画・第3期障害福祉計画」策定。	
			千亀利公園(岸城町)内に観光交流センター開館。	
		11月	市制施行90周年。	